

「第9回応用力学シンポジウム」の開催

標記シンポジウムを下記の通り開催いたします。多数の方のご参加をお願い致します。

日時：2006年9月19日(火)9:00 - 18:00(予定)

場所：京都大学吉田キャンパス 工学部物理系校舎

(添付地図と下記 URL 参照)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map2r.htm>

http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map6r_y.htm

主催：土木学会応用力学委員会

参加費：土木学会正員 1,000 円，土木学会学生員 無料

非会員 2,000 円(ただし，講演者は 1,000 円です)

(当日会場にて受け付けます。)

懇親会：

日時：2006年9月19日(火)18:30~20:30

会場：時計台記念館国際交流ホール III (吉田キャンパス内)

会費：5,000 円 学生 2,000 円(当日会場にて受け付けます)

申込み：参加人数把握のため，FAX: 03-5379-0125 あるいは

E-mail: oka@jsce.or.jp にて，学会事務局担当の岡部ま

でご連絡ください。

応用力学論文集 Vol.9 の販売

2006年8月末刊行，予価 9,000 円(送料 1,000 円は別途必要)

事前に購入を希望される方は土木学会事務局担当の岡部宛に

FAX: 03-5379-0125 または E-mail: oka@jsce.or.jp にてお申込みく

ださい。なお，会場においても販売いたします。また，発表者

の方は必ず論文集を 1 冊購入していただきますので，改めてお

申込みいただく必要はありません。事前に送付いたします。

プログラム

特別講演会会場: F 会場 313 室 (物理系校舎 3F)

13:00-13:15 応用力学論文賞授与式

13:15-14:00 特別講演「流砂機構と移動床過程の力学」

辻本哲郎 (名古屋大学)

A 会場: 212 室 (物理系校舎 2F)

9:00-10:00 6. 地震防災・耐震の数理と力学 (その 1)

座長: 本田利器 (東京大)

(6-1) Comments on bridge girder seating length under current design regulations N. Chouw and H. Hao

(6-2) ジャイロセンサを用いた地震観測の有効性に関する考察

鈴木崇伸, 堀 宗朗, 壁谷澤寿海

(6-3) 1 周波 GPS 受信機の無線センサネットワークにおける通信データ量削減手法について

高坂朋寛, 金子昌平, 佐伯昌之

10:10-11:30 6. 地震防災・耐震の数理と力学 (その 2)

座長: 市村 強 (東京工大)

(6-4) SPH 法による土構造物の弾塑性解析

小野祐輔, 西田真悟, 清野純史

(6-5) 搭状構造に装着したケーブル・マスダンパーの制震性能に関する実験的研究

片山拓朗, 高野涼平, 山尾敏孝

(6-6) 構造物被害状況の自動抽出のための画像解析手法の開発

高橋弘樹, 小国健二, 堀 宗朗

(6-7) Walsh 関数に基づく動力学震源インバージョン解析 - 推定変数のトレードオフ及びノイズに関する考察 -

後藤浩之, 澤田純男

14:10-16:10 8. メンテナンスの力学問題 (その 1)

座長: 松本高志 (東京大)

(8-1) 透水係数の信頼性を考慮した埋立地の性能設計アプローチ

西田博文, 長江剛志, 佐藤 毅

(8-2) 破壊確率を考慮した既存橋の補修方法選択法に関する一考察

長尾 毅, 佐藤秀政, 宮島正悟

(8-3) 経年水圧鉄管の腐食形状測定とその評価

西田瑛太郎, 宇都宮智昭, 片岡幸毅, 梅崎昌彦, 木村哲也

(8-4) Thermographic measurement and thermal stress analysis at the interface of external wall tile structure

R. Rumbayan, T. Mahaboonpachai, and T. Matsumoto

(8-5) Macro and microscopic bonding fracture mechanism along FRP-concrete bond interface

Z. Wu and J. Yin

(8-6) 紫外線硬化型樹脂による補強対策での疲労寿命延命効果の検討

井田剛史, 平野廣和, 松井謙典, 連 重俊

16:20-18:00 8. メンテナンスの力学問題 (その 2)

座長: 館石和雄 (名古屋大)

(8-7) 電子スペckルパターン干渉法を用いた欠陥を有するアルミニウム合金板の破壊挙動に関する実験的研究

松田 浩, 古屋 瞬

安東祐樹, 森下 喬, 杉原泰亮, 山下 務, 崎山 毅, 黄 美

(8-8) マイクロ起振器を用いた振動実験による鋼トラス橋の損傷

同定 古川愛子, 大塚久哲, 梅林福太郎

(8-9) 時間・周波数解析を用いたボルトの緩み検出方法に関する一考察

村上琢哉, 盛川 仁

(8-10) 変形・電位場の連成を考慮した超音波探触子シミュレータの開発

山田真幸, 宮腰寛之, 寺田賢二郎

(8-11) Accuracy improvement of cepstrum analysis for detecting penetration of foundation piles using ultrasonic wave

Y. Kawamura, Y. Ito, K. Mizutani, S. Kuraoka, and M. Ujihira

B 会場: 213 室 (物理系校舎 2F)

8:40-10:00 5. 離散体の力学 (その 1)

座長: 松島巨志 (筑波大)

(5-1) 自然石の形状をモデル化した粒状要素解析

土倉 泰

(5-2) Influence of grain properties on macro mechanical behaviors of granular media by DEM

K. Maeda and H. Hirabayashi

(5-3) 粒状体におけるエネルギー散逸機構の統計的表現

郷 春躍, 岸野佑次, 京谷孝史

(5-4) 個別要素法による凍結融解作用を受ける粒状体の力学挙動解析

石川達也, 玉置和美, 三浦清一

10:10-11:30 5. 離散体の力学 (その 2)

座長: 前田健一 (名古屋工大)

(5-5) 豊浦砂の高解像度 X 線 CT 画像を利用した三次元多孔質体モデルの構築および SPH による透水シミュレーション

竿本英貴, 松島巨志, 山田恭央, 羽田野祐子

(5-6) 小規模河床波上の流体-浮遊砂速度の同時 PIV 計測

秩父宏太郎, 山下智子, 渡部靖憲, 清水康行

(5-7) 個別要素法のコンクリート破片飛散シミュレーションへの応用

原木大輔, 香月 智, 藤掛一典

(5-8) 土質改良機における土砂と添加剤の攪拌トルクに関する研究

高橋 弘, 酒井康雄, 森 泰雄

14:10-16:10 3. 計算力学 (その 5)

座長: 岡澤重信 (広島大)

(3-20) セルオートマトン法を用いた 2 次元騒音伝搬モデルの開発

富樫孝介, 宮木康幸

(3-21) 地理的条件を有するマルチエージェントシミュレーションにおけるエージェントの移動に関する基礎的研究

白山 晋, 山出真也

(3-22) 圧縮パントナイト中の表面拡散現象に関する均質化解析

藤井直樹, 市川康明

(3-23) クロスプライ積層偏平シェルの対称・非対称屈曲挙動解析

森田千尋, 田中哲也, 松田 浩, 崎山 毅

黄 美, 白濱敏行

(3-24) BF-spline Ritz 法を用いた長方形 Mindlin 板の振動解析

名木野晴暢, 水澤富作, 三上 隆

(3-25) 三角形・四面体要素を用いた VOF 法によるトポロジー最適化法
西宮裕騎, 阿部和久, 紅露一寛

16:20-17:20 1. 物理数学力学問題

座長: 東平光生 (東京理科大), 齊木 功 (東北大)

(1-1) 領域積分方程式の離散化で得られる疎行列の反復解法の性能比較と音響場の解析

岩崎健太郎, 東平光生, 佐伯昌之

(1-2) 極めて柔軟かつ厚いコアを有するパイプインパイプ断面の静水圧による局部座屈特性

佐藤太裕, M. H. Patel, F. Trarieux

(1-3) 膜張力平均化サイマルコントロール法による石鯛膜形態解析
帯屋洋之, 井嶋克志, 西極春幸

C 会場: 215 室 (物理系校舎 2F)

10:10-11:30 9. 相互作用系力学 (その 1)

座長: 阿部和久 (新潟大)

(9-1) 水撃圧を受ける経年水圧鉄管の破壊シミュレーション

中村和男, 宇都宮智昭, 片岡幸毅, 梅崎昌彦, 木村哲也

(9-2) Numerical scheme for dynamic response of deep-water risers

C. Riveros, T. Utsunomiya, K. Maeda, and K. Itoh

(9-3) 損傷指標を用いた動的相互作用系の耐震性能評価

木村至伸, 飯塚知浩, 河野健二, 中村剛久

(9-4) 大型浮体の波浪中動揺の実海域計測とそのシミュレーション
小崎洋平, 宇都宮智明, 加藤俊司, 難波康広
佐藤 宏, 湯川和浩

14:10-15:50 2. 逆問題 (その 1)

座長: 鈴木 誠 (清水建設)

(2-1) 独立成分分析を用いた起振応答の抽出法と損傷同定問題への適用
古川愛子, 清野純史, 大塚久哲

(2-2) 交通振動を用いた橋梁の損傷推定に関する基礎研究

吉田郁政, 原 数馬, 金 哲佑, 川谷充郎

(2-3) Nondestructive damage detection scheme for steel bridges

S. Beskhyroun, S. Mikami, and T. Oshima

(2-4) 時系列解析を用いた出水時における河川橋梁の振動特性に関する研究
松本健作, 宋 東烈, 玉置晴朗
藤田智之, 青木隆行, 菅 正信

(2-5) Ambient vibration test of Aswan cable stayed bridge

A. Kamal, M. Rabel, A. El-Attar, M. Kunieda, and H. Nakamura

16:00-17:20 2. 逆問題 (その 2)

座長: 村上 章 (岡山大)

(2-6) 熱画像解析を用いたコンクリート構造物の欠陥検出に関する研究
太田佳秀, 曾根 彰, 増田 新, 射場大輔

(2-7) 超音波リニアアレイ探触子のための逆散乱イメージング法の開発
中畑和之, 廣瀬壮一

(2-8) SH 波超音波リニアアレイ探触子の時間領域モデリング

木本和志, 廣瀬壮一

(2-9) レーザ超音波計測による波形データを用いたクラック決定解析
吉川 仁, 川田朋和, 西村直志

D 会場: 216 室 (物理系校舎 2F)

8:40-10:00 3. 計算力学 (その 1)

座長: 寺田賢二郎 (東北大)

(3-1) 安定化有限要素法による非等温場風況解析 ~ 流出境界条件と熱伝達境界条件の検討 ~
板橋 翔, 岸 昌由, 田中聖三, 櫻山和男, 志村正幸

(3-2) 四面体要素を用いた接触を伴う剛体運動の数値計算法

藤岡 奨, 牛島 省, 福谷 彰

(3-3) Solid-fluid interaction analysis by using a multi-material Eulerian finite element method R. Doig, S. Okazawa, and M. Fujikubo

(3-4) メッシュフリー法による飽和 - 不飽和浸透流解析

櫻井英行, 白石知成

10:10-11:30 3. 計算力学 (その 2)

座長: 山田貴博 (横浜国立大)

(3-5) 移動境界を考慮した浅水長波流れ解析のためのメッシュ細分化手法を用いた Space-Time 安定化有限要素法

高瀬慎介, 田中聖三, 櫻山和男

(3-6) Eulerian 有限要素法による亀裂進展解析

山田翔太, 梅木裕三, 岡澤重信, 柳原大輔, 藤久保昌彦

(3-7) 鉄筋の腐食膨張に伴うコンクリートひび割れモードの再現解析とそのメカニズムに関する一考察

車谷麻緒, 石幡雅弘, 石井建樹, 寺田賢二郎

(3-8) ケーブル構造の張力決定に関する一計算法

D. T. Dang, 岩崎英治, 長井正嗣

14:10-16:10 3. 計算力学 (その 3)

座長: 紅露一寛 (新潟大)

(3-9) 一般化収束論による平板構造に対する非線形均質化理論の適用
齊木 功, 本田宏孝, 岩熊哲夫, 中島章典

(3-10) 拡張有限要素法 (X-FEM) による二次元き裂問題の解析とその精度評価
柴沼一樹, 宇都宮智昭

(3-11) 気象要因の影響を考慮した音の伝播に関する有限要素解析法
野村卓史, 高木耕平

(3-12) 非構造格子に基づく CIVA-格子ボルツマン法による浅水長波流れ解析
石川裕士, 立石詢也, 櫻山和男

(3-13) 二段階分枝限定法による既存橋梁の最適補修パーツの選定法
谷脇一弘, 大貫水田生

(3-14) 鋼アーチ橋に曲がりリブ部材を適用した効果と挙動特性
山尾敏孝, 高治修作, スジャリボン アタビ

16:20-18:00 3. 計算力学 (その 4)

座長: 櫻山和男 (中央大)

(3-15) 2次元 Helmholtz 方程式の周期境界値問題における高速多重極境界要素法
大谷佳広, 西村直志

(3-16) 微視的亀裂進展を考慮した非均質準脆性材料のマルチスケール解析
石井建樹, 京谷孝史, 西沢直樹, 寺田賢二郎

(3-17) 平板の端部によるガイド波の反射の 3次元解析
クワン アリーフ, 廣瀬壮一

(3-18) 保存型時間積分を用いた膜と流体の連成解析手法
山田貴博, 茅根智浩, 大塚隆行, 伊藤嘉晃

(3-19) 剛塑性体における位相最適化に関する基礎的研究
西藤 潤

E 会場: 312 室 (物理系校舎 3F)

08:40-10:00 7. 流体力学 (その 1)

座長: 泉 典洋 (北海道大)

(7-1) 改良レベルセット法による非圧縮性気液二相流のシミュレーション
横嶋 哲

(7-2) Two-phase numerical model for air sparging simulation with modeling of acceleration terms
N. Jacimovic, T. Hosoda, K. Kishida, and M. Ivetic

(7-3) LES における動的境界条件の導入
北野有哉, 中山昭彦

(7-4) 2D Numerical model for river flow and bed evolution based on unstructured mesh
H. Zhang, H. Nakagawa, Y. Muto, D. Touchi, and Y. Muramoto

10:10-11:30 7. 流体力学 (その 2)

座長: 細田 尚 (京都大)

(7-5) 地形性強風の数値予測と格子解像度の影響

内田孝紀, 大屋裕二, 友清衣利子, 前田潤滋

(7-6) 断面辺長比 4 の矩形周辺流れのフィードバック制御

比江島慎二, 三好 直, 野村卓史

(7-7) 有限要素解析における物体の角への壁関数適用方法の検討
長谷部寛, 野村卓史

(7-8) Approximate solution for an axisymmetric swirling jet using non-linear k-ε model with consideration of realizability
M. S. Ali, T. Hosoda, I. Kimura, and S. Onda

14:10-15:30 7. 流体力学 (その3)

座長: 前野詩朗 (岡山大)

- (7-9) 階段式魚道における汎用的な流況予測のための数値解析手法
浪平 篤, 後藤真宏
- (7-10) 斜水路下流部に配置された円筒形ブロックを用いた跳水制御に関する実験的研究
鬼束幸樹, 秋山壽一郎, 重枝未玲, 中川達矢, 尾関弘明

- (7-11) Influence of the structure permeability on scouring and flow around a spur dike during a surge pass
T. Mioduszewski and S. Maeno

- (7-12) 片側切り欠き付き階段式魚道におけるアスペクト比および流量が魚の遡上特性に及ぼす影響
鬼束幸樹, 秋山壽一郎, 飯國洋平, 木内大介, 高橋康行

16:00-18:00 4. 非線形力学 (その5)

座長: 矢富盟祥 (金沢大)

- (4-20) Extended overstress model with overstress tensor
K. Hashiguchi, T. Okayasu, and T. Ozaki
- (4-21) 不連続面を有する材料のクリープ実験と数値解析
吉田秀典, 白賀 孟, 井上純哉, 秀島喬博, 金谷賢生, 蒲池孝夫, 平川芳明, 森 聡
- (4-22) 衝突条件が異なる衝撃力を受ける鉄筋コンクリートはりの有限要素法による挙動解析
橋紗代子, 榎谷 浩, 中村佐智夫

- (4-23) デジタル画像相関法を用いた矩形張力膜のリンクル計測
松田 浩, 森下 喬, 安東祐樹, 古屋 瞬, 山下 務, 内野正和, 伊藤幸広, 崎山 毅

- (4-24) 古タイヤを破砕したゴムチップを用いた新しい地盤材料の開発に関する研究
御手洗義夫, 中村 祐, 大谷 順

- (4-25) ニューマチックケーソン施工過程の数値解析
梅田法義, 藤井 直, 井上智裕, 大内正敏, 下間 充, 田村 武

F 会場: 313 室 (物理系校舎 3F)

8:40-10:00 4. 非線形力学 (その1)

座長: 小林俊一 (京大)

- (4-1) 進行する界面剥離の簡易モデルと複合材料有限要素
河原佳武, 谷田貝圭介, 小山 茂, 岩熊哲夫
- (4-2) 物質移動を考慮した不飽和土/水連成問題の数値モデルと有限要素解析手法
藤川和彦, 飯塚 敦, 河井克之, ビパットバンサー ティラボン
- (4-3) ため池の越流破壊メカニズム
藤澤和謙, 桃木昌平, 山本清仁, 小林 晃, 青山成康
- (4-4) 地下空洞を有する砂質土地盤の極限解析
山本健太郎, A. V. Lyamin, S. W. Sloan, and A. J. Abbo

10:10-11:30 4. 非線形力学 (その2)

座長: 田村 武 (京大)

- (4-5) 非線形コンラクタンシー表現式を用いた土の弾塑性構成モデル
大野進太郎, 飯塚 敦, 太田秀樹
- (4-6) ベタ基礎におけるこま型ブロック全面敷設と外周敷設の比較
李 平, 荒井克彦, 藤井 衛, 安川郁夫, 西田 登
- (4-7) 自重等の拘束が斜面安定と変形の局所化に及ぼす影響
岩熊哲夫, 山賀陽子, 齊木 功
- (4-8) Strain estimate method of RC columns subjected to cyclic loading
M. Dragoi and T. Tsubaki

14:10-16:10 4. 非線形力学 (その3)

座長: 中野正樹 (名古屋大)

- (4-9) 変形と剛性を考慮した補強盛土斜面の安定解析
横田善弘, 荒井克彦, 齒黒智也, 辻慎一郎
- (4-10) Extended subloading surface model incorporating elastic boundary concept
S. Tsutsumi, M. Toyosada, and K. Hashiguchi
- (4-11) Non-convex mechanical response of pressure dependent yielding materials within associated and non-associated plasticity
S. Tsutsumi, M. Toyosada, and K. Hashiguchi

(4-12) 膨潤性土質材料の弾塑性構成則に関する研究

平井 卓, 重野喜政, 高治一彦, 飯塚 敦

- (4-13) 移動荷重を受ける c-φ材料の支持力特性に関するシェイクダウン解析
小林俊一, 西川雅規, 田村 武
- (4-14) 下負荷面モデルの材料パラメータの決定法に関する研究
瀬戸内秀規, 橋口公一

16:20-18:00 4. 非線形力学 (その4)

座長: 吉田秀典 (香川大)

- (4-15) Constitutive equation for friction with static-kinetic friction transition
K. Hashiguchi and S. Ozaki
- (4-16) X線CTを用いた水平荷重下における杭周辺地盤挙動の3次元可視化
高野大樹, ファンダンホア, 大谷 順
- (4-17) 拡張下負荷面・下負荷面摩擦モデルを用いた繰返し摩擦現象の数値解析
矢嶋泰基, 堤成一郎, 豊貞雅宏, 尾崎伸吾, 橋口公一
- (4-18) 落石シミュレーションにおけるパラメータ同定を目的とした衝撃加速度の検討
西山えるむ, 川村洋平, 山近哲志, 齊藤知宏, 氏平増之
- (4-19) 飽和粘土地盤の圧密変形に及ぼす幾何学的非線形性の効果
竹内秀克, 高稲敏浩, 野田利弘

G 会場: 314 室 (物理系校舎 3F)

8:40-10:00 7. 流体力学 (その4)

座長: 大本照憲 (熊本大)

- (7-13) ビンガム流体を含む非圧縮性多相場の数値解析手法
藤田 学, 牛島 省
- (7-14) 非ニュートン流体特性を有する高濃度土砂流の抵抗特性
崔 志英, 大本照憲, 古賀 聖
- (7-15) 浸透層上における流れの不安定性理論
大友裕隆, 泉 典洋
- (7-16) 降雨浸透・浸出過程における地盤内間隙空気の影響に関する実験と数値解析
齋藤雅彦, 八木宗一郎, 正木寛昭, 市成準一

10:10-11:30 7. 流体力学 (その5)

座長: 牛島 省 (京大)

- (7-17) Boussinesq 方程式を用いた単独突起上の開水路流れの水面形分類について
駒居 優, 細田 尚, 音田慎一郎
- (7-18) 二次元浅水流の保存型 CIP 陽解法の開発とその検証
内田龍彦, 河原能久
- (7-19) 大陸棚上から大陸斜面を流下する乱泥流の運動特性
山口健治, 泉 典洋
- (7-20) 水路を遡上する波動流れと物体輸送に対する 3 次元多相場の数値解法(3D MICS)の適用性
牛島 省, 牧野統師, 禰津家久

14:10-16:10 7. 流体力学 (その6)

座長: 藤田一郎 (神戸大)

- (7-21) 植生群落間の相互作用が開水路流れの抵抗に与える影響
田中貴幸, 大本照憲, 田中寿幸
- (7-22) 河床波上の浮遊砂流れにおける粒子濃度が液相の乱流構造に及ぼす影響
禰津家久, 野口和則, 山上路生
- (7-23) Numerical prediction of the nutrient-limiting growth of Phragmites Japonica through soil-plant-atmosphere column
T. K. C. Bui, Y. Toda, and T. Tsujimoto
- (7-24) 風波発生下における植生キャノピー開水路流れの乱流構造について
禰津家久, 山上路生, 岡本隆明
- (7-25) 複断面蛇行河道における洪水流の増水期と減水期の流れ構造
森下 祐, 渡邊明英, 内田龍彦, 河原能久
- (7-26) 底面粗度による剥離渦発生と水面変動の関係について
藤田一郎, 江見 崇

16:20-18:00 7. 流体力学 (その7)

座長：竹林洋史 (徳島大)

(7-27) 洪水時における河口砂州上流域の水位変動特性

○竹林洋史, 江頭進治, 金 海生, 佐々木忠志

(7-28) 河川合流点における非定常乱流モデルを用いた河床変動計算

○舛屋繁和, 清水康行, 舛甚甲介

(7-29) Recent advances on computational modeling of bed form morphodynamics

○S. Giri and Y. Shimizu

(7-30) A new treatment of the exchange layer thickness to evaluate sediment sorting and armoring

○X. L. Luu, S. Egashira, and H. Takebayashi

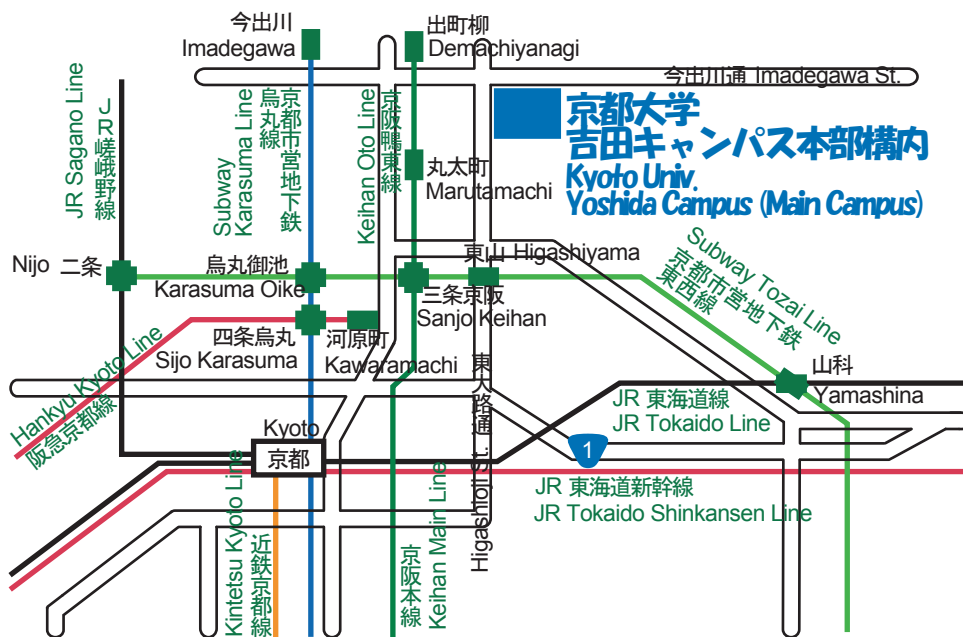
(7-31) 非定常流の下での砂州の挙動に関する数値解析

○小林健介, 清水康行, 渡邊康玄

*発表者の方へ

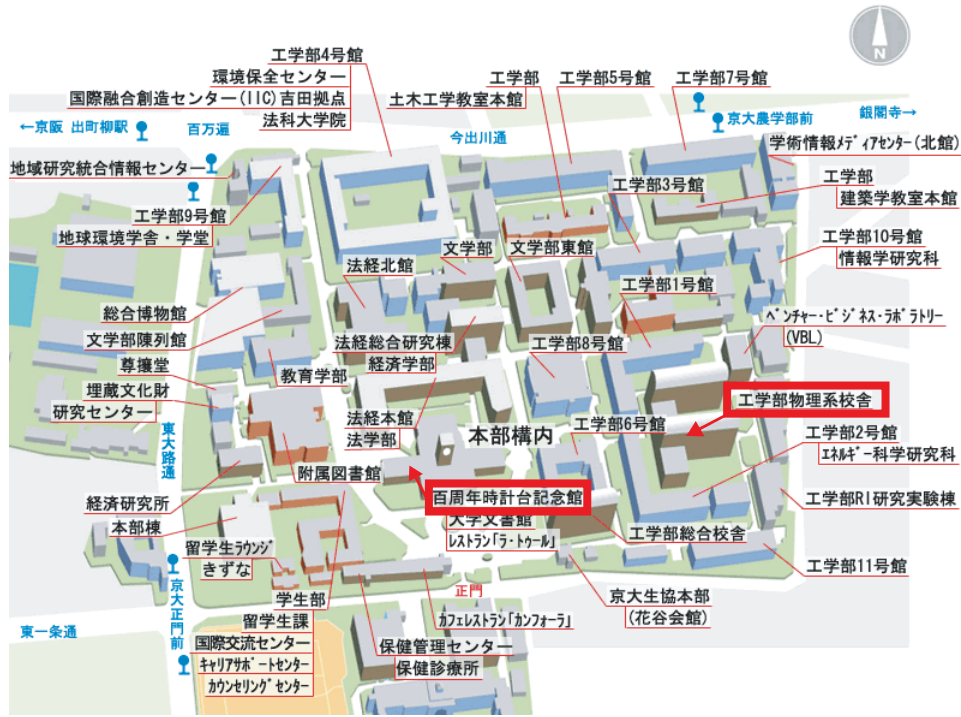
本年度のシンポジウムは7会場で開催されます。特に指示がない限り公演時間は1論文あたり15分(質疑応答5分)です。講演会場にはOHPおよび液晶プロジェクターを用意します。ただし、プロジェクターに接続するPCは各自でお持ち下さい。

交通案内

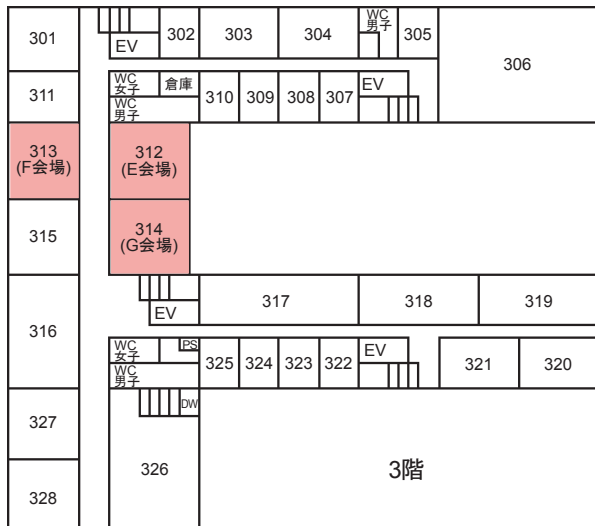
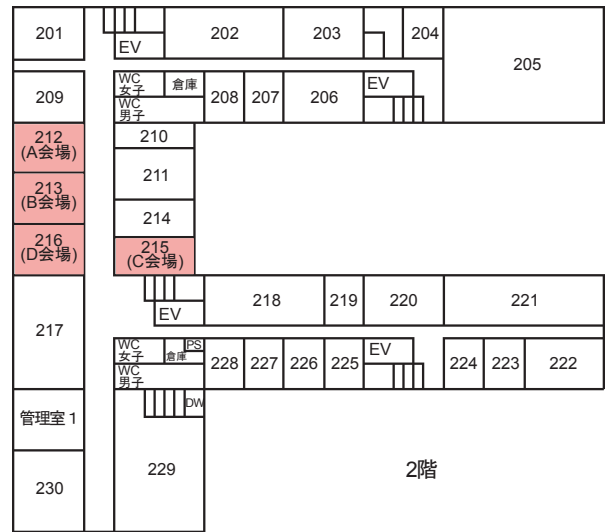
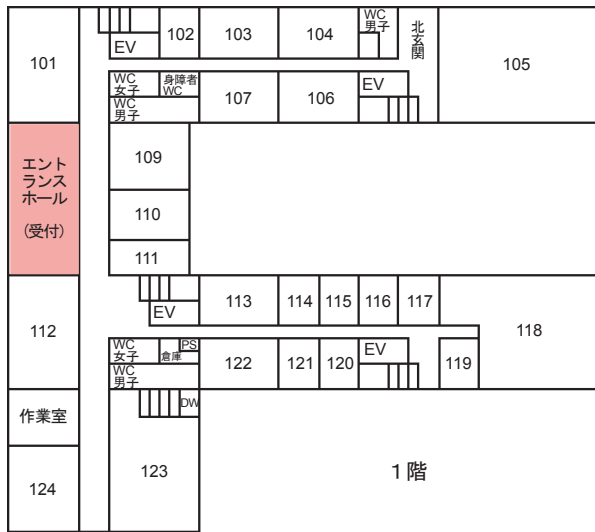


| 主要 鉄道駅 | 利用交通 機関等 | 乗車 バス停 | 市バス 系統 | 市バス経路 | 所要 時間 | 下車/バス停 |
|------------------------|-------------|-----------|-----------|-------------------|----------|----------------|
| JR/近鉄 京都駅から | 市バス | 京都駅前 | 206 系統 | 「東山通 北大路バスターミナル」行 | 約 35 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| | | | 17 系統 | 「河原町通 錦林車庫」行 | 約 35 分 | 百万遍 |
| 阪急 河原町駅 から | 市バス | 四条河原町 | 201 系統 | 「祇園 百万遍」行 | 約 25 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| | | | 31 系統 | 「熊野・岩倉」行 | 約 25 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| | | | 17 系統 | 「河原町通 錦林車庫」行 | 約 25 分 | 百万遍 |
| | | | 3 系統 | 「百万遍 北白川仕伏町」行 | 約 25 分 | 百万遍 |
| 地下鉄烏丸線 烏丸今出川駅 から | 市バス | 烏丸今出川 | 203 系統 | 「銀閣寺道・錦林車庫」行 | 約 15 分 | 百万遍 |
| | | | 201 系統 | 「百万遍・祇園」行 | 約 15 分 | 百万遍 又は京大正門前 |
| 地下鉄東西線 東山駅から | 市バス | 東山三条 | 206 系統 | 「高野 千本北大路」行 | 約 20 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| | | | 201 系統 | 「百万遍 千本今出川」行 | 約 20 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| | | | 31 系統 | 「修学院・岩倉」行 | 約 20 分 | 京大正門前 又は百万遍 |
| 京阪出町柳 | 徒歩 | (東へ) | | | 約 20 分 | |
| | 市バス | 出町柳駅前 | 201 系統 | 「祇園 みぶ」行 | 約 10 分 | 百万遍 又は京大正門前 |
| | | | 17 系統 | 「錦林車庫」行 | 約 10 分 | 百万遍 |

吉田キャンパス本部構内



工学部物理系校舎



百年時計台記念館

